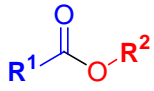
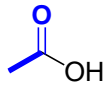
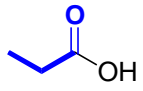
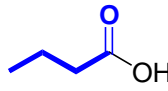
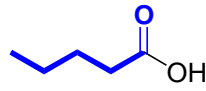






カルボン酸エステルの匂いのまとめ

	 酢酸	 プロピオン酸	 酪酸	 吉草酸
 エタノール	× 9名		11名 5名	6名
 プロパノール	× 6名		8名 1名	10名 3名
 イソプロパノール	× 9名	× 5名	ほとんど、匂わ ない!?	ほとんど、匂わ ない!?
 ブタノール	× 2名	× 6名	4名 × 2名	8名 5名

- 食べてもいいぐらいの、いいにおい
 × 食べるなんてとんでもない。
 これが一番いいにおい(母数 14名)

考察

- (1) においては用いたカルボン酸により、強く影響を受ける
- (2) 酢酸のエステル類は接着剤っぽい匂いが多い。
- (3) カルボン酸そのものはとんでもない匂いである、酪酸、吉草酸由来のエステルにはキウイのような良い匂いのものが多い。
- (4) アルコールとしてイソプロパノールを用いたものはろくな物がない。どういう訳か、酪酸、吉草酸のエステルでもあまり匂わない。
- (5) 酪酸のエチルエステル、吉草酸のブチルエステルが最もいい匂いと感じる人が 10/14 と、圧倒的多数を占めた。

実験日 2008/07/31

実験場所 京都府立大学 1号館 1階学生実験室

参加者 滋賀県立守山高等学校(一年7名、二年5名)、同中学校(三年3名)

引率 野泉武志教諭

担当 京都府立大学生命環境学部生命分子化学科機能分子合成研究室